



ライフプランナー
相続診断士
土屋 敬 (つちや たかし)
山形生まれ。退職金の活用や老後資金の準備、マイホームの購入・改築時の資金計画、相続対策等、年間200世帯以上のライフプランニングを行なっている。好きなものは「ビール」と「美味しい食べ物」。ファイナンシャルプランナー、トータル・ライフ・コンサルタント、住宅ローンアドバイザー等。2016 MDRT 成績資格会員(11~)。

数字で見るセカンドライフ

今月は

5.2%

子どもが成人してから貯めるのでは、もう遅い!? 老後資金準備・資産形成の一番の味方は、「時間」です。

先日、お客様から「テレビや雑誌などで収入の2割を貯蓄しなさいというのをよく見かけるのですが、実際収入の何%を貯蓄すれば良いですか?」というご質問を受けました。収入の2割=5分の1を貯蓄にまわす、確かによく見る数字ですよ。気になって調べてみたところ、旧約聖書に「収入の5分の1は飢饉に備えよ」というフレーズを見つけました。2000年以上前から言われていたなんて。想像以上に歴史が古くてびっくりしました。貯蓄率はお客様から頻繁に聞かれる質問の一つです。ご家族の人数やライフスタイルによって貯蓄できる金額が変わってくるので、実は正解がありません。ただ、家計管理をする上で、なんらかの目安は欲しいものですよ。今回は世代別の貯蓄率について取り上げてみます。

総務省の家計調査(平成27年)によると、勤労者世帯実収入平均は月46万9200円。社会保険料や税金などをひいた可処分所得(手取額)は38万1193円となっています。そのうち、預貯金にまわしている金額の平均は6万9001円。貯

蓄率(預貯金÷可処分所得×100)は、18.1%となっています。世代別に見ると、貯蓄率が一番高いのは、29歳以下の35.8%。私が独身の頃は、入ってきた分だけお金を遣っていた記憶がありますが(笑)、今の若い方はしっかりしていますね。

対して私たちりらく世代の貯蓄率は、40代が18.1%、50代が16.9%です。会社勤めの場合、一般的に40~50代が給料のピークとなりますが、子どもが高校・大学に進学し、教育費がかさむ時期。貯蓄が思うようにすすまないことが数字の上でも見えてきます。そしてセカンドライフを迎える60代の貯蓄率とはいうと、どの世代よりも低い5.2%です。60歳以降も仕事を続ける人が増えていますが、再就職先では給料が下がり、貯蓄する余裕がない現状が伺えます。年を重ねるにしたがって、貯蓄は難しくなっていく。老後資金準備や資産形成は、時間が最大の味方になります。今すぐアクションを起こしていただきたいですね。

■お問い合わせ先

ソニー生命保険株式会社

仙台ライフプランナーセンター第2支社 第3営業所
ライフプランナー 相続診断士 **土屋 敬** (つちや たかし)
〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡4-2-3 仙台MTビル15F
募集文書登録 SL16-3630-0067

☎022-296-5472 (平日9:00~17:30)

takashi_tsuchiya@sonylife.co.jp 携帯電話 090-9538-2463

*ご記入いただきましたお名前・ご生年月日・ご連絡先につきましては、セミナーご出席の確認ならびにソニー生命およびグループ各社の各種商品の情報提供、サービス等のご案内にのみ利用させていただきます。

土屋敬

検索

<http://www.doyakei.com>

無料

りらく読者限定

ライフプラン
個別相談実施中

生命保険や個人年金保険の相談はもとより、年金や介護、相続、退職金の活用などお金に関する疑問や不安などを専門家に話してみませんか?

■申込方法(完全予約制) / 電話・Eメールにて(左記参照)。名前・連絡先・希望日時・主な相談内容をご連絡ください。